MAN-431A　FV46　2016年3月1日発行

LIXIL

カーテンレール付窓枠 バランス　組立て・取付け説明書

●この説明書は、必ず組立て・取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

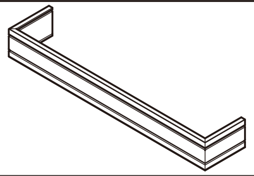
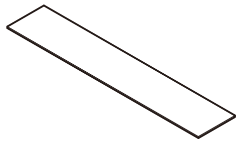
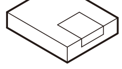
⚠注 意

●商品が脱落するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・必ず厚さ45mm以上の補強材(躯体)が入ったところに取付けしてください。
・補強材(躯体)の位置がわからない場合は、工務店さまに補強材位置を確認してください。
・ねじは指定のものを指定本数使用して固定してください。

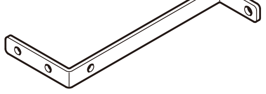
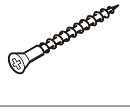
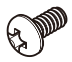
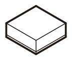
■組立て・取付け上のお願い

●本製品は、浴室内部など常時湿り気のある場所には、取付けないでください。
●造作材・建具枠の下地材および、かい木には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
●本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。
締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
●各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
●本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。
他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
●本製品に、揺らす・ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
●納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。（施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）
●運搬・加工の際はキズ付かないように取扱ってください。
●軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のねじでは取付けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。
●梁またはまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いため直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けしてください。
●取付けは、天井と上枠天面間が250mm以上、壁と上枠端部間が65mm以上ある位置に行ってください。

■部品・部材の明細

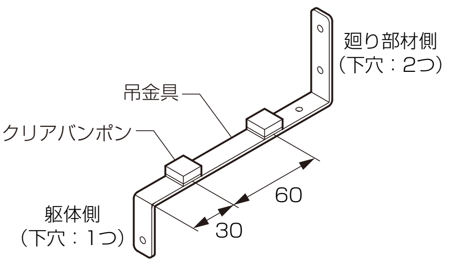
廻り部材	
天板	
部品セット	

■部品セット明細

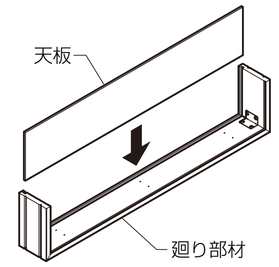
	吊金具	躯体取付け用 DNねじ φ3.8×60 頭塗装	天板取付け用 トラス小ねじ M4×10 頭塗装	廻り部材取付け用 トラスTPねじ φ4×14	クリア バンポン
					
吊金具 2個入	2	2	2	4	4
吊金具 3個入	3	3	3	6	6

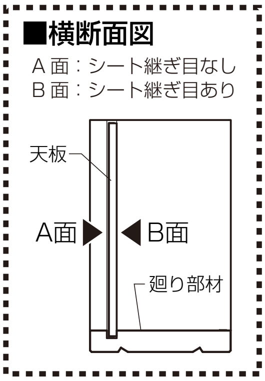
■取付け準備

①全ての吊金具の裏側にクリアバンポンを２つずつ貼り付けます。

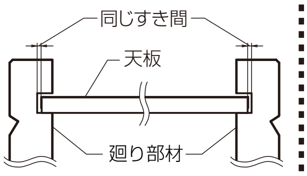


②天板を廻り部材に差し込みます。

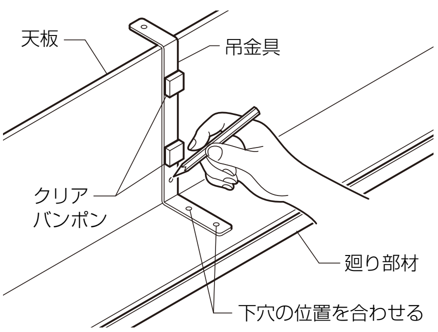




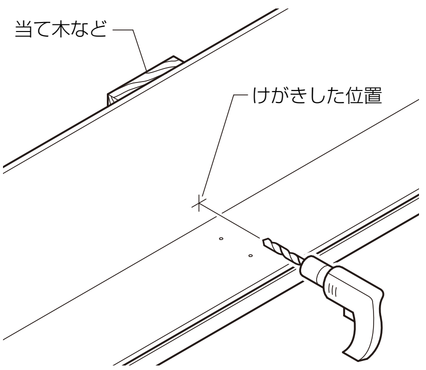
お願い
天板と廻り部材の溝のすき間が左右同じになるように合せてからけがきをしてください。



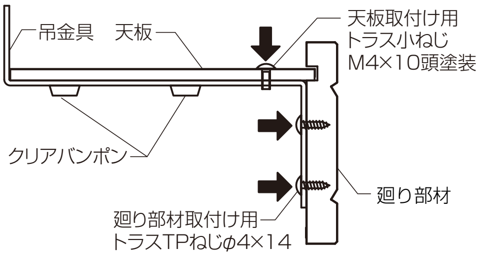
③廻り部材の吊金具取付け用下穴の位置に合わせて吊金具をあてがい、吊金具をガイドにして天板の下穴を開ける位置にけがきをします。



④吊金具を取り外し、けがきをした位置にφ5の下穴(貫通穴)を開けます。
※天板に下穴を開ける際は、化粧面に当て木などをしてください。シートの破れ・めくれが発生するおそれがあります。
※吊金具に開いている下穴より、天板に開ける下穴の方が穴径が大きくなります。
必ず一度吊金具を取り外してから下穴を開けてください。



⑤天板取付け用トラス小ねじ(M4×10)と廻り部材取付け用トラスＴＰねじ(φ4×14)で、天板・廻り部材と吊金具をそれぞれ固定します。

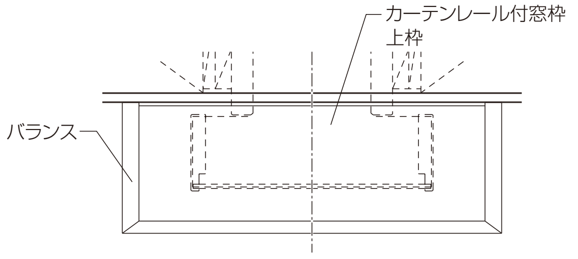


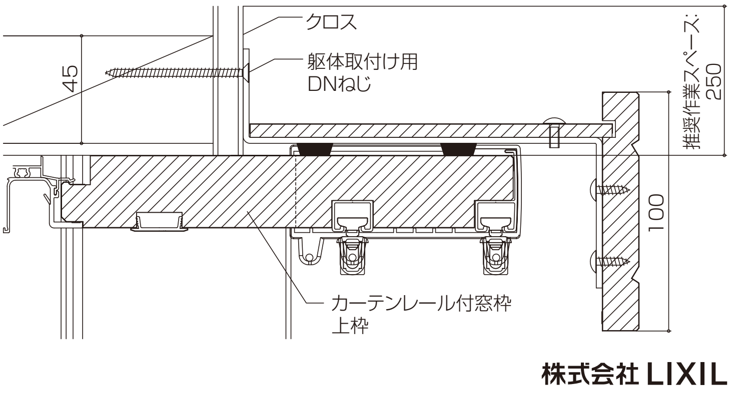
⑥③～⑤の手順を残りの箇所にも行い、吊金具を全て取付けます。

■取付け順序

●躯体への取付け

①カーテンレール付窓枠の上枠とバランス天板の中央位置を合わせます。
②カーテンレール付窓枠の上にバランスを載せ、上枠とバランスのけがき位置を合わせてから、躯体取付け用ＤＮねじ(φ3.8×60)をドライバーで締付けて躯体に固定します。



⚠ 注 意

●必ず厚さ45mm以上の補強材が入ったところに躯体取付けねじを打ち込んでください。本体脱落の原因になります。